

# すてっぷは、シングルマザーを応援します

財団は2013年4月より1年間、緊急雇用創出事業「ひとり親家庭の親の再就職支援のための情報発信能力育成事業」を実施し、シングルマザーの就労支援に取り組んできました。シングルマザーの就労に関する現状は厳しく、母子世帯の80.6%が就業しているにもかかわらず約半数が非正規雇用であり、平均年収は223万円（うち就労収入は181万円）と「働いても貧困」という現実があります（2011年度全国母子世帯等調査）。この問題は個人で解決できるものではなく、社会全体として取り組むべき大きな課題といえます。シングルマザーが働きやすく生きやすい社会をめざし、支援に取り組んできた団体と連携し、仕事、生活に役立つメッセージを届けます。

一人でも多くのシングルマザーが働くことができるように  
～よりそいながら、仕事さがしを支援する～



## 大阪マザーズハローワーク

スタッフのみなさん。

乾恵さん(所長、前列向かって右より2番目)、

中谷千代美さん(統括職業指導官、前列向かって右より3番目)

よりお話をうかがいました。

## 子育て中の方の 仕事さがしを支援

大阪マザーズハローワークは、シングルマザーはもちろん、すべての女性の仕事さがしをサポートしています。常に、7,000件以上の大阪府内の求人票や「女性に人気の職種」ファイルや「仕事と子育てが両立しやすい求人」コーナーなどを設け、子育て中の方が仕事を探しやすい工夫をしています。「面接対策」、「応募書類作成」などのセミナー、企業に参加していただく就職面接会も実施しています。子どもを連れてお越しいただいても、ゆっくり仕事さがしができるよう、お子様を見守る「安全サポートスタッフ」も配置しています。

「仕事がなかなか決まらない」と相談される方には、カウンセリングを実施し、希望条件を整理しながら、キャリアの棚おろしをします。シングルマザーであれば、子どもの状況、子育てへの支援者の有無など、仕事と子育てをどう

両立するかなどを詳細にヒアリングし、企業とのマッチングを考えます。産業カウンセラーやキャリアカウンセラーなどの資格を持つなど経験豊かなスタッフが相談に応じています。豊中市には千里中央にハローワークプラザ千里マザーズコーナーがあり、同様の支援をしています。



10時から18時まで「安全サポートスタッフ」が常駐しています

## 企業へのアプローチ

シングルマザーをはじめ就職を希望する方に仕事についてもらうためには、ご本人の意欲や仕事に対する姿勢、強みなどを企業に伝えていくことが大切です。

国の制度としては、母子家庭の母等を雇用した事業主に対する助成金制度（「特定求職者雇用開発助成金」）や母子家庭の母等を一定期間試用雇用した事業主に対する奨励金制度があり、これらの制度を活用されている事業主の方もおられます（一定の支給要件等があります）。〔（平成24年度特定求職者雇用開発助成金（母子家庭の母等）支給件数1,940件（大阪労働局）〕

大阪マザーズハローワーク独自の取り組みとして、今年度から「ハローマザー企業」を募集しています。「ハローマザー企業」とは、「勤務時間、勤務日数等を柔軟に設定できる」、「残業や土日祝の休みに配慮できる」、「託児施設がある」など仕事と子育ての両立に理解のある企業で、現在28社が登録しています。「ハローマザー企業」を募集する中で、企業からは「出産後も働き続けてもらうためには、会社としてどのようなサポートが必要だろうか」という相談も寄せられるようになりました。

企業の考えを伝えることも大切です。2013年8月に会社からアンケートをとり、「～働くママたちへ～アンケートから見る153社の企業が望むモノ」という冊子を作成し、配布しています。「応募する前に準備してほしいこと」「子育てをしている従業員の評価する(した)こと」や、企業からママたちへの励ましのエールなど、就職活動の参考となる情報をまとめました。



「ハローマザー企業」をわかりやすく紹介

## シングルマザーの就労のポイント

シングルマザーは働く意欲が高くても、働く時間に制限がある、残業ができない、子育てのサポートがない、生活を支える賃金の問題など多くの障壁があると思います。それを乗り越えるのは容易なことではありませんが、実際にシングルマザーが就職したケースはたくさんあるので、あきらめることはありません。

40歳代前半のシングルマザーが就職できたケースを紹介します。初めて相談にきた時は夫がいましたが、その後離婚し、子どもを扶養するために、パートタイムではなくフルタイムの仕事を希望。1年間の就職活動ののち、正社員の事務職として採用が決まりました。彼女はとても意欲のある人で、1年

間あきらめることなく、多いときには3日に1回は来所していました。私たちは仕事さがしはもちろん、気持ちの上でのサポートもしていきました。

シングルマザーの場合、希望に合った求人がなかなか見つからないことも多いかと思えます。そのようなときは、希望条件の中からゆずれるもの、ゆずれないものを考えながら、企業の条件と歩み寄ることが大切だと思います。自分では「職業経験が短い」など不利だと思っても、やる気や仕事に対する姿勢など自己PRできるものを見つけていくことができます。迷ったり困ったりしたら、遠慮なく相談してください。一人ひとりの置かれた状況に応じ、よりそいながら一緒に仕事さがしをしていきたいと思えます。一人でも多くの方が一日でも早く就職できるよう職員一同、全力でサポートしますので、是非ご利用ください。



経験豊かな職員による、きめ細かな職業相談

### 大阪マザーズハローワーク

(月～金) 午前10時～午後7時  
(土) 午前10時～午後6時  
(日・祝・年末年始休み)

〒542-0076  
大阪市中央区難波 2-2-3  
御堂筋グランドビル 4階  
(なんば駅24号出口直結)

TEL. 06-7653-1098  
<http://osaka-mother.jstite.mhlw.go.jp/>

### 豊中にもこんな応援窓口があります。

財団の「シングルマザー応援サイト」の作成にも協力いただいた、豊中市の心強い相談先を紹介しします。困ったことがある場合、ぜひ気軽にお問合せください。

#### ●豊中市子ども未来部子ども政策室

豊中市のひとり親世帯(18歳未満の子どものいる母子家庭と父子家庭)数は、4,915世帯(2010年度の国勢調査)で、2005年から549世帯が増加しています。

豊中市では、厚生労働省の方針に沿って「子育て・生活支援」「就業支援」「養育費確保支援」「経済的支援」などさまざまな施策を実施しています(豊中市HPから「豊中市ひとり親家庭のしおり」を見ることができます)。

就業支援の1つである就労相談では、相談者のこれまでの経験や資格、仕事に対する価値観などを聞き、支援の方向性を決めます。プログラム策定員の平柴雅子さんたちの丁寧な対応により、2012年度は延べ188人が相談に来られて、36人が就職しました。

平柴さんは「仕事や子どもの養育がうまくいかないとき、『自分がダメだから』と落ち込んで悲観的になるのではなく、視点を変えてみることで気持ちが楽になり道が開ける場合があります。一人で悩まず相談してください。相談というキャッチボールのなかで、ものの見方が変わることもあります」とシングルマザーにエールを送っています。

豊中市子ども未来部  
子ども政策室  
TEL.06-6858-2767



豊中市ひとり親家庭のしおり

#### ●豊中市立母子福祉センター

母子福祉センターでは、豊中市子ども未来部子ども政策室や豊中市の他の相談機関と母子福祉センターの指定管理事業を担っている社会福祉法人豊中市母子寡婦福祉会が連携しながら、より良いひとり親家庭支援を進めています。

主な支援事業には、就労支援、学習支援、生活支援、レクリエーションがあります。また、相談事業で生活・子育て・就労・健康などのあらゆる相談も受けています。

相談員の松本成美さんは、ご自身の経験を生かして相談を担当しています。シングルマザーからの相談は、奨学金、転職、生活への不安などがあります。あまり知られていませんが「ひとり親家庭等日常生活支援事業」は、一時的に家事育児が困難になったとき、家庭生活支援員(ヘルパー)を派遣してもらえます。「技能取得のために通学や就職活動」「疾病、事故等」「冠婚葬祭や出張」「学校等の行事」等の理由で利用できます。

「離婚したいが生活できるか…」といった離婚前の相談にも応じていますので、ぜひ気軽にご連絡ください。



豊中市立  
母子福祉センター  
TEL.06-6845-1333  
06-6852-5160

豊中市母子寡婦福祉会～とよぼし～  
<http://toyonakaboshi.com/>